

# 第95期 第2四半期報告書

2021年1月1日～2021年6月30日

F U K U D A R E P O R T



株式会社 **福田組**

証券コード：1899

## WEBサイトのご案内

様々なコンテンツを掲載している  
当社WEBサイトをご利用ください



福田組

検索

スマートフォンからも  
ご確認いただけます

## ご挨拶

マルチ・ステークホルダーの満足を第一に取り組んでまいります。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々、ご遺族の皆さまに謹んで哀悼の意を表すとともに、罹患されている方々が一日も早く回復されますよう心よりお祈り申し上げます。

また、感染拡大防止に向けて最前線で奮闘されている行政機関の皆さま、医療従事者の皆さまには心より感謝申し上げます。

さて当社は2021年6月30日をもって、第95期第2四半期(2021年1月1日～2021年6月30日)を終了しましたので、ここに当第2四半期の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は後記のとおりであります。今日のグローバルな社会では、想定外のリスクを孕んでおりますが、企業価値の向上と健全なグループ経営基盤の維持を図り、今後



代表取締役会長  
福田 勝之



代表取締役社長  
荒明 正紀

とも株主の皆さまのご期待に沿えるようグループ一丸となって邁進する所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年9月

### 当第2四半期累計期間の連結事業概況

売上高におきましては、高水準であった前期繰越高において、懸念されていた新型コロナウイルス感染症拡大による工事の中断も無く、順調に工事進捗が図られたことなどにより、前年同四

半期と比べて2.5%増の862億円余となりました。

利益面におきましては、売上高の増加や採算性の高い工事物件が完成したことによる粗利益率の上昇が大きく貢献したことから、売上総利益は前年同四半期と比べて13.4%増の101億円余となり、

### 財務ハイライト



前年まで計上していた「のれんの償却」が無くなったことなどによる販売費及び一般管理費の減少もあって、営業利益は前年同四半期と比べて32.7%増の55億円余となりました。

また営業外損益においては、大きな変動は無く、経常利益は前年同四半期と比べて33.2%増の56億円余となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期と比べて34.6%増の37億円余となりました。

しかし受注面におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、民間分野における発注の遅れや競争の激化など、厳しい状況が鮮明となっており、当社個別の受注高は第2四半期末時点で484億円余、前年同期比8.0%減となりました。

### ▼ 通期の見通し

わが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の低迷を懸念しておりましたが、業種による景気の「二極化現象」が生じており、製造業を中心とした企業収益においては堅調な動きになっている反面、個人消費サービス関連のものについては低調傾向のままとなっており、収束時期が見通せない限りこの状態が続くものと思われる。個人消費においてもワクチン接種が進むにつれ、上向きになることが予想されるものの、接種の進捗度が低下していることから景気回復が加速していないと思われる。

このような経済状況を背景に、建設業におきましては、防災対策や将来に向けたインフラ老朽化対策を中心とした公共投資は減少傾向となっており、民間投資においても、設備投資計画の

減少により需要が限定的となっているため、更なる受注競争の激化が生じることが予想されます。

また、慢性的な労働者不足による労務単価や調達が難航する海外製資材などの価格が高騰することにより、建設コストが継続的に上昇することが予想されるため、生産性向上を緊急課題として諸施策に取り組んでいる状況であります。

更に、新型コロナウイルスが収束しない限り、感染者発生に伴う工事の一時中断、もしくは中止が生じることで自社の業績悪化を招く可能性も排除できない状態でもあります。

以上のような状況の中で、当社グループにおける収益状況は、第2四半期時点において、売上高が前年同四半期と比べて上回っており、当初計画に対する進捗率の面から見ると順調にきております。

しかし、今後、第3四半期以降、引き続き受注環境の好転が見られない場合、手持工事量の減少により売上・利益共に伸び悩むことが予想されます。よって通期の業績見通しは、決して楽観視できないものと思われる。

従いまして、通期（2021年12月）の連結業績につきましては、当初計画のとおり、売上高1,750億円、営業利益78億円、経常利益80億円、親会社株主に帰属する当期純利益53億円を見込んでおります。

親会社株主に帰属する  
四半期(当期)純利益



受注高(単体)



当社では、お客様のライフスタイルに合った理想のマンションリフォーム・リノベーションをご提案いたします。マンションならではの構造や制約をデザインやノウハウでクリアするのはもちろんのこと、マンション管理業も行っている当社だからこそ、管理会社様への届け出や共用部の養生、近隣住戸への配慮など、きめ細かく対応いたします。

### マンションリフォーム 施工実例

間取りも水廻りも自在に。  
住戸内すべてを解体・撤去し、暮らしを一新するスケルトンリノベーション。

**Before**

**Skeleton**

**After**

スケルトン状態にすることで、水廻りの大幅な移動が可能に。

3LDKからゆとりのある2LDKへ間取り変更。玄関からの動線が二方向となり、ぐるっと回れる回遊動線とした。

築26年3LDKのお部屋。水廻りの位置によって玄関からリビングへの動線が一方に限定されていた。各部屋とLDKが独立した間取りを、ご夫婦の要望に合わせてプランニングを開始。

**After**

# 現代によみがえる 古民家再生リノベーション

当社は、大規模な古民家リフォーム・リノベーションを数多く手掛けてきました。伝統工法による古民家特有の趣ある佇まいはそのままに、現代的な暮らしやすさを兼ね備えた美しい住居として生き返らせます。豊富な知識・経験・技術を活かし、先祖代々受け継いできた大切な財産を、更に未来へ継承するお手伝いをさせていただきます。

## 古民家再生 施工実例

古き良きものを活かす。  
機能性とデザイン性を両立した、外と内がつながる古民家再生リノベーション。



築90年超の古民家を美しくリノベーション。以前は冬の寒さが厳しく、続き間が多い間取りで、家族構成に対応できなかった。柱や梁をそのまま活かし、古民家特有の趣を残しながらも、個々のプライベート空間を確保。



After

Before

自然豊かな外の景色を取り入れ、書斎→デッキ→外とつながるよう間取りを検討。開放的で気持ち良い空間が生まれた。

# 連結財務諸表

## ● 連結貸借対照表 (単位: 百万円/百万円未満切捨)

科目	当第2四半期連結会計期間末 (2021.6.30現在)	前連結会計年度末 (2020.12.31現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	102,647	102,288
固定資産	35,648	35,273
資産合計	138,296	137,562
<b>負債の部</b>		
流動負債	56,669	58,717
固定負債	7,478	7,508
負債合計	64,147	66,226
<b>純資産の部</b>		
株主資本	72,992	70,170
その他の包括利益累計額	510	550
その他有価証券評価差額金	608	655
土地再評価差額金	△87	△87
退職給付に係る調整累計額	△10	△17
非支配株主持分	646	615
純資産合計	74,148	71,335
負債・純資産合計	138,296	137,562

## ● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円/百万円未満切捨)

科目	当第2四半期連結累計期間 (2021.1.1~6.30)	前第2四半期連結累計期間 (2020.1.1~6.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,663	22,998
投資活動によるキャッシュ・フロー	△828	△1,019
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,495	△8,355
現金及び現金同等物の増減額	19,339	13,624
現金及び現金同等物の期首残高	23,116	23,171
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,456	36,795

## ● 連結損益計算書 (単位: 百万円/百万円未満切捨)

科目	当第2四半期連結累計期間 (2021.1.1~6.30)	前第2四半期連結累計期間 (2020.1.1~6.30)
売上高	86,293	84,158
売上原価	76,173	75,237
売上総利益	10,119	8,921
販売費及び一般管理費	4,574	4,743
営業利益	5,545	4,177
営業外収益	236	184
営業外費用	104	99
経常利益	5,677	4,263
特別利益	46	85
特別損失	99	207
税金等調整前四半期純利益	5,624	4,141
法人税、住民税及び事業税	1,904	1,540
法人税等調整額	△88	△218
四半期純利益	3,808	2,819
非支配株主に帰属する四半期純利益	50	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,758	2,792

### ▶ ワンポイント

#### 【連結貸借対照表】

資産については、売上債権の回収が順調に進んだことや回収資金を月次の下請負代金等の支払に備えたことから現金預金が増加したものの、売上債権が順調に回収できたことによる受取手形・完成工事未収入金等も減少したため、流動資産としては若干の増額に留まっており、投資有価証券の増加も影響して、前連結会計年度末に比べ総資産は7億円余増加し、1,382億円余となりました。

負債については、支払手形・工事未払金等が増加したものの、返済による借入金残高の減少があり、前連結会計年度末に比べ20億円余減少の641億円余となりました。

純資産については、前期分の配当支払が生じながらも、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加したため、前連結会計年度末に比べて28億円余増加し、741億円余となりました。

#### 【連結キャッシュ・フロー計算書】

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年より未成工事受入金増加額が大きな減少となったものの、売上債権の減少や仕入債務の増加等による収入面が大きかったことにより、256億円余の収入超過となりました。(前年同四半期は、229億円余の収入超過)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得が少なかったことにより、8億円余の支出超過となりました。(前年同四半期は、10億円余の支出超過)

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済による減少額が大きかったことや自己株式の取得による支出がほぼ無かったことにより、54億円余の支出超過となりました。(前年同四半期は、83億円余の支出超過)

## ■ 会社の概況 (2021年6月30日現在)

創 業 1902年1月  
 設 立 1927年12月  
 資 本 金 5,158,408,496円  
 従 業 員 数 918名  
 連 結 子 会 社 16社 (福田道路(株)他)

### 主要な事業所 ●本社

新潟市中央区一番堀通町3番地10  
 電話 025-266-9111 (大代表)

### ●本店・支店

新潟本店(新潟市中央区)  
 東京本店(東京都千代田区)  
 東北支店(仙台市青葉区)  
 名古屋支店(名古屋市中区)  
 大阪支店(大阪市北区)  
 九州支店(福岡市博多区)  
 中越支店(新潟県長岡市)  
 北海道支店(札幌市中央区)

### ●営業所

盛岡、千葉、横浜、村上、上越、広島ほか  
 6営業所

### 主要な子会社

福田道路(株)  
 (株)興和  
 フクダハウジング(株)  
 (株)レックス  
 福田アセット&サービス(株)  
 (株)新潟造園土木  
 福田リニューアル(株)  
 北日本建材リース(株)  
 (株)リアス

## ■ 役員 (2021年6月30日現在)

代表取締役会長 執行役員会長	福田 勝之	執行役員	追木 博幸
代表取締役社長 執行役員社長	荒明 正紀	執行役員	山本 幹夫
代表取締役副社長 執行役員副社長	石川 渡	執行役員	清水 浩
取締役 執行役員	齋藤 秀明	執行役員	湯上 聡
取締役 執行役員	大塚 進一	執行役員	田宮 強志
取締役 執行役員	山賀 豊	執行役員	今野 和則
取締役 執行役員	岩崎 勝彦	執行役員	砂田 修一
社外取締役	矢澤 健一	常勤監査役	小見 年雄
社外取締役	中田 義直	常勤監査役	高桑 正一
執行役員副社長	藤山 秀章	社外監査役	山本 武志
執行役員	八鍬 耕一	社外監査役	砂田 徹也
執行役員	尾崎 清美		宮島 道明

注1. 矢澤健一、中田義直の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

注2. 砂田徹也、宮島道明の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

## ■ 株式の状況 (2021年6月30日現在)

発行可能株式総数 20,000,000株  
 発行済株式の総数(自己株式を除く) 8,607,587株  
 株主数 4,929名  
 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(公財)福田育英会	688	8.0
日本マスタートラスト信託銀行(株)	497	5.8
福田 直美	431	5.0
(株)第四北越銀行	419	4.9
小沢 和子	321	3.7
福田石材(株)	286	3.3

(注) 持株比率は自己株式(380,524株)を控除して計算しております。なお、当該自己株式数は、「株式給付信託(J-ESOP)」および「役員株式給付信託(BBT)」制度の信託財産として、(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(85,900株)は含まれておりません。

## 株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 3月

基準日 定時株主総会 12月31日  
期末配当金 12月31日  
中間配当金 6月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

### 【連絡先】

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

### 【送付先】

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

公告の方法 電子公告の方法により行います。

ただし、やむを得ない事由により電子公告による  
ことができない場合は、日本経済新聞に掲載いた  
します。

公告掲載URL <https://www.fkd.co.jp/>

### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意下さい。なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

## 株主優待制度

当社では、日頃の株主様の御支援に感謝申し上げるとともに、弊社株式を末永く保有していただくことを目的に、株主優待制度を導入しております。

保有株式数	優待贈呈内容	贈呈実施基準
200株以上	クオカード 2,000円分	毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された内容に応じ贈呈
200株以上	クオカード 5,000円分	1年以上継続保有(株主名簿に3回以上記載または記録)された内容に応じ贈呈

贈呈時期 毎年3月下旬発送予定

## ●株主手続に関するFAQ

### 1 特別口座では株式の売買を行うことができないので、特別口座にある株式を証券会社の口座に振替えたいのですが…

あらかじめ、証券会社に口座を開設した後で、当社の特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行までお申し出下さい。単元未満株式についても振替が可能です。振替にかかる手数料はございません。

### 2 単元未満株式を処分したいのですが…

当社では、単元未満株式の買取・買増請求制度を採用しておりますので、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行までお申し出下さい。

※すでに、単元未満株式を特別口座から証券会社の口座に振替えられた場合は、振替先の証券会社にお申し出下さい。

### 3 各種手続の申し出先を知りたいのですが…

①証券会社の口座にある株式  
▶お取引先の証券会社

②特別口座にある株式  
▶三菱UFJ信託銀行  
(※右記までお問い合わせ下さい。)

〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711  
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>



# FUKUDA

本社 / 新潟市中央区一番堀通町3番地10  
電話 025-266-9111 (大代表)